

## 開南管理學院 95 年度第 2 學期 應用日語 學系科目教學計劃表

科目 代碼	科目名稱	授課教師	修別	開課年級	學分 數	每週 時數
→540 20102 -01	中文： 日本語聽力訓練(二)(下)	杜念慈	■必修	2年 A 班	2	2
	英文： Japanese Listening Comprehension (2)	先修課程				
教學目標	<p>教學目標は、日本語の「聞く・話す・読む・書く」の四技能と「訳」の技能を合わせ、五技能の総合的養成をめざすものである。「聞く・話す・読む・書く・訳」の五技能の養成は次のとおりである。日本語は、「読む」「聞く」「話す」「書く」、そして「訳」を習得させる順番でしっかり身につけてもらいたい。</p>					
與內容	<p>【受講生に対する希望】初回には必ず出席する者。自己認識をしたい者。遅刻入室及び途中退室は原則として認めない。講義への「参加」を重視する授業であることを忘れないこと。「参加」とは授業で質問や意見を提出することでコミットすることであって、その場にいたことではない。</p>					
實施方法	<p>講義形式が中心ですが、グループワーク、プレゼンテーション、討論といった形態も導入する。◆朗読法。◆討論法(ディスカッション)。◆読解法。◆演習法。</p>					
評量方式	<p>成績評価は、レポートの質と授業への参加状況で行う。出席自体は評価の対象とならないが、授業内容に関する質問・意見は授業に対する参加・貢献として評価に加えることがある。</p> <p>◆50%(平常点、ノート提出、メールのやりとり等)</p> <p>◆25%(中間レポート)</p> <p>◆25%(期末試験)</p>					

授課使用 及 參考書籍	テキストについては講義の際に提示します。参考テキストなどの文献資料の場合、プリントを配布します。
	<p>【使用テキスト等】</p> <p>1、古川千春著『日語聴力実力養成』上澤社文化、2005。</p> <p>2、日本語教育研究会編著『生活日語怎麼說 1』大新書局、2005。</p> <p>3、日本語教育研究会編著『生活日語怎麼說 2』大新書局、2005。</p> <p>4、<a href="http://news.tbs.co.jp/">http://news.tbs.co.jp/</a> : TBS News i。</p> <p>&lt;参考テキスト&gt;</p> <p>i、(日本)スリーエーネットワーク『大家的日本語 進階 I』大新書局、2005。</p> <p>ii、(日本)スリーエーネットワーク『大家的日本語 進階 II』大新書局、2005。</p>

科目簡介(可含大綱及教學進度):

第 1 週 (オリエンテーション)	第 10 週 (日本語能力試験聴力 II の練習帳)
第 2 週 (日本語能力試験聴力 II の練習帳)	第 11 週 (日本語能力試験聴力 II の練習帳)
第 3 週 (日本語能力試験聴力 II の練習帳)	第 12 週 (日本語能力試験聴力 II の練習帳)
第 4 週 (日本語能力試験聴力 II の練習帳)	第 13 週 (日本語能力試験聴力 I の練習帳)
第 5 週 (日本語能力試験聴力 II の練習帳)	第 14 週 (日本語能力試験聴力 I の練習帳)
第 6 週 (日本語能力試験聴力 II の練習帳)	第 15 週 (日本語能力試験聴力 I の練習帳)
第 7 週 (日本語能力試験聴力 II の練習帳)	第 16 週 (日本語能力試験聴力 I の練習帳)
第 8 週 (日本語能力試験聴力 II の練習帳)	第 17 週 (日本語能力試験聴力 I の練習帳)
第 9 週 (中間テスト)	第 18 週 (期末テスト)

說明:

9. 授課教師於學期前填寫本表, 經課程委員會審核後, 影印分送給教師所屬課程委員會召集人, 授課班級所屬系、所及教務處課務組; 並於開始上課時, 將本內容向學生說明。

10. 本表於 91.4.23 第四次校課程委員會討論通過。

課程委員會召集人 

授課教師:

